

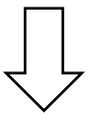
羽村ー山口軽便鉄道

村山貯水池や山口貯水池を建設するための資材や砂利を運んだトロッコ鉄道の廃線跡が自転車道路に転用されていて、軽便規格のトンネル4本を手軽に歩くことができます。

<モデルコース>

多摩都市モノレール上北台駅（バス乗り場＝東口）

MMシャトルバス 総合体育館行き 約10分
(歩く場合は 約2km)



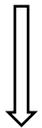
神明二丁目バス停

徒歩10分 (500m)



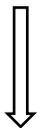
真福寺

徒歩10分 (500m)
※ 少し山道へと入っていきます。



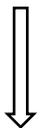
赤坂トンネル入口

※ 右手方向に進むと、封鎖された
5号隧道の入口まで行くことができます。

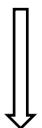


赤坂トンネル (4号隧道)

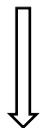
※ 横田児童遊園まで、約20分 (900m)



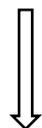
御岳トンネル (3号隧道)



赤堀トンネル (2号隧道)



横田トンネル (1号隧道)



真福寺

和銅3年(710)に僧行基によって創建されたと伝えられる古刹。真言宗豊山派の寺院。鎌倉時代に落雷で焼失した。現在の本堂は江戸時代安永7年(1778)の建立で本尊は薬師如来。他に二層の山門、鐘楼、観音堂がある。

野山北公園自転車道

羽村・山口軽便鉄道の廃線跡を整備し、サイクリングロードとして利用されている。

西側は一直線に続く道の両側が桜並木になっており、春の花が満開の頃には見事な長めになることで知られる。

一方、東側には狭山丘陵の起伏を貫く4本のトンネルを通ることができる。ただし、トンネルの開放時間は夏(4月～9月)が午前7時から午後6時まで、冬(10月～3月)は午前7時から午後5時までとなっており、夜間はシャッターが閉まっていて通行できない。

横田児童遊園（かつての軽便鉄道の車庫があった場所にあたります）

※ 引き続き廃線跡を歩く場合は、横田児童遊園から西へ野山北公園自転車道を進み、江戸街道までいくことができます（約 2.7 km）。江戸街道より先は瑞穂町に入り、工場敷地、さらに米軍横田基地があって通行できません。また、こちらを歩いた場合の帰りは、江戸街道に出る手前、武蔵村山高校の近くにMMシャトルバス「西ルート」の武蔵村山高校南バス停がありますが、西ルートのMMシャトルバスは鉄道の駅まで行かないのでご注意ください。

徒歩 5 分（400m）

武蔵村山市立歴史民俗資料館

徒歩 1 分（100m）

村山温泉 かたくりの湯

MMシャトルバス 上北台駅行き
または玉川上水駅行き

多摩都市モノレール上北台駅

または

多摩都市モノレール・西武拝島線玉川上水駅

※ 歴史民俗資料館やかたくりの湯に立ち寄らない場合は、横田トンネルの出口を少し南に歩いたところにMMシャトルバスの「横田トンネル前」バス停があるので、そこから上北台行きもしくは玉川上水駅行きに乗車できます。

武蔵村山市立歴史民俗資料館

武蔵村山市の自然・歴史・民俗について展示されている。軽便鉄道「羽村―山口線」についての展示もある。

- ◆開館時間 9時～17時 入館無料
- ◆休館日 第一月曜・第三水曜 年末年始
- ◆所在地 東京都武蔵村山市本町 5-21-1
- ◆電話番号 042-560-6620

村山温泉 かたくりの湯

都立野山北・六道山公園の東端にある。地下1500mから汲み上げた天然温泉で、成分はメタほう酸。血流改善効果が高い人工炭酸泉もある。レストランを併設。

- ◆営業時間 10時～23時
- ◆定休日 第3木曜日（祝日の場合は翌日）
- ◆料金 土・日祝日 900円 平日 800円
（一般大人の場合）
- ◆所在地 東京都武蔵村山市本町 5-29-1
- ◆電話番号 042-520-1026

MMシャトル（武蔵村山市内循環バス）

武蔵村山市が市民の足として導入しているコミュニティバス。市内に鉄道駅がないため、モノレール駅のある東大和市内も走る。日中は上北台駅～神明二丁目～武蔵村山市役所前～横田トンネル前～かたくりの湯～横田トンネル前～総合体育館を往復する「上北台ルート」と、玉川上水駅～イオンモール～武蔵村山市役所前～横田トンネル前～かたくりの湯を往復する「玉川上水ルート」、村山医療センター～武蔵村山病院～イオンモール～武蔵村山高校南～総合体育館を往復する「西ルート」の3系統があり、「上北台ルート」は約40分間隔、「玉川上水ルート」は約55分間隔、「西ルート」は約35～45分間隔で運行している。運賃は1乗車均一170円。運行本数が少ないので、事前にインターネットなどで運行予定時刻表を確認しておくことをお勧めする。

（2018年8月時点の情報による）

◎羽村―山口軽便鉄道　～村山、山口両貯水池建設の資材運搬用に敷設した鉄道～

区 間・距離：羽村取水堰～山口貯水池堰堤　　1 2.6 k m

軌 間：2 フィート (609 mm)

車両数：トロッコ　450 両　　ディーゼル機関車　6 台　　ガソリン機関車　28 台

◆歴史：運行時期は 3 期に分かれる

●村山貯水池（多摩湖）建設

大正 7 年（1918）　村山貯水池の建設に伴い、多摩川の羽村堰^{せき}から貯水池までの導水管敷設工事に必要な資材運搬用にトロッコ軌道を建設。

大正 10 年（1921）　取水口～導水管出口までの全線が開通（7.8 km）。

大正 13 年（1924）　村山貯水池が完成。導水管敷設工事の終了により、鉄道は廃止、線路も撤去された。

●山口貯水池（狭山湖）建設

都市部の人口増加などによる水需要の増大で新たな貯水池が必要になり、山口貯水池の建設が決まった。村山貯水池の場合は導水管資材の運搬が中心だったが、山口貯水池の場合は堰をつくる砂利運搬を主目的に使われた。

昭和 3 年（1928）4 月　横田～羽村間の線路を撤去した部分の再敷設工事を開始。

10 月　横田より山口貯水池堰堤^{えんてい}までの鉄道建設工事に着手。

昭和 4 年（1929）　全線が開通（12.6 km）。

昭和 8 年（1933）　山口貯水池が完成。鉄道は廃止。

●堰堤^{かさ}の嵩上げ工事

昭和 18 年（1943）～昭和 19 年（1944）

米軍の爆撃による貯水池堰堤保護のため、両貯水池の嵩上げ工事を実施。そのための砂利運搬に再度利用された。

◆廃線跡の現在

今回紹介したコースで歩くのは、山口貯水池の建設時に新しく建設された部分の一部。第 5 隧道より貯水池寄り^{寄り}は東京都水道局の管理用地で閉鎖されていて、立ち入れない。第 1 隧道の入口付近は横田車庫があった場所と思われるが、ここより羽村側は村山貯水池建設時に線路が敷設された跡地である。

武蔵村山市内の線路跡は野山北公園自転車道となっている。市境を超えた瑞穂町側は工場用地や米軍横田基地になっていて通行できない。羽村市内も廃線跡の痕跡ははっきりしない。

参考資料：けやき出版：多摩らび　28号、34号

武蔵村山市商工会：村山郷を訪ねる「ウォーキングマップ」

西武鉄道：のんびり散歩「多摩湖・東村山」

羽村-山口軽便鉄道 廃線跡にあるトンネル群
(現在は野山北公園自転車道として整備・利用されている)



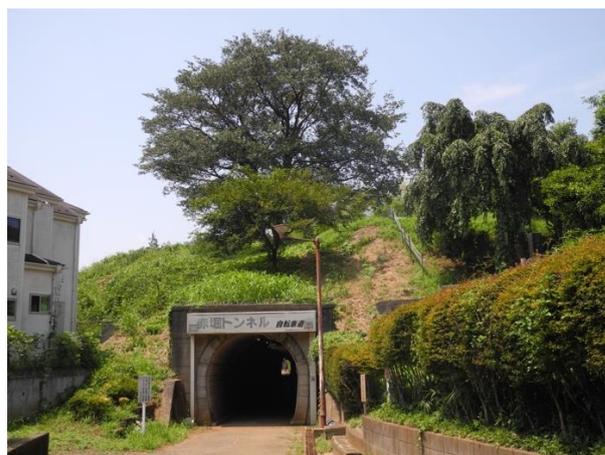
5号隧道 西側
※ トンネル内立ち入り禁止



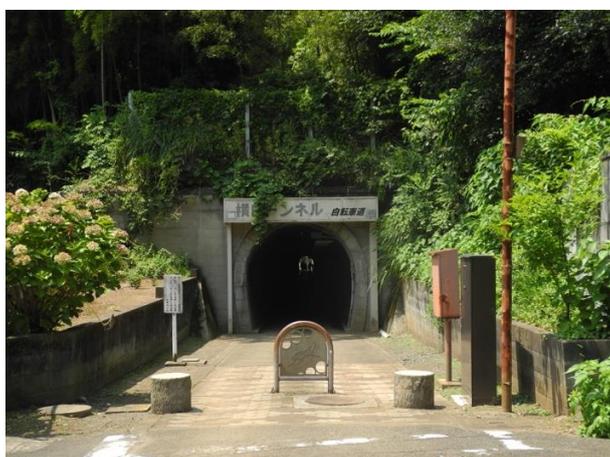
赤坂トンネル (4号隧道) 東側



御岳トンネル (3号隧道) 東側



赤坂トンネル (2号隧道) 東側



横田トンネル (1号隧道) 東側



横田トンネル (1号隧道) 西側